

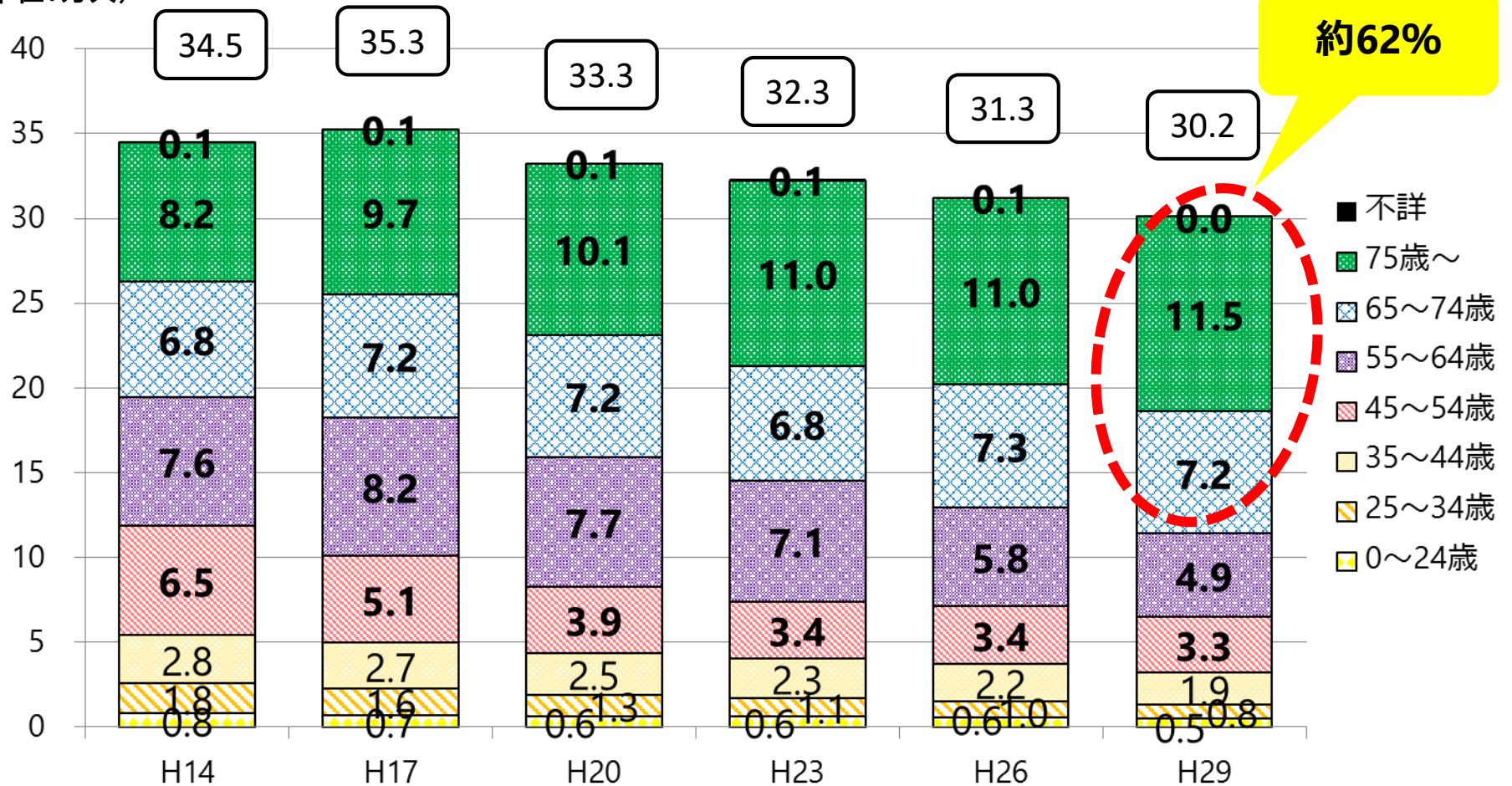
せいしん か びょういん げんじょう

Ⅱ 精神科病院の現状について

精神疾患を有する入院患者数の推移（年齢階級別内訳）

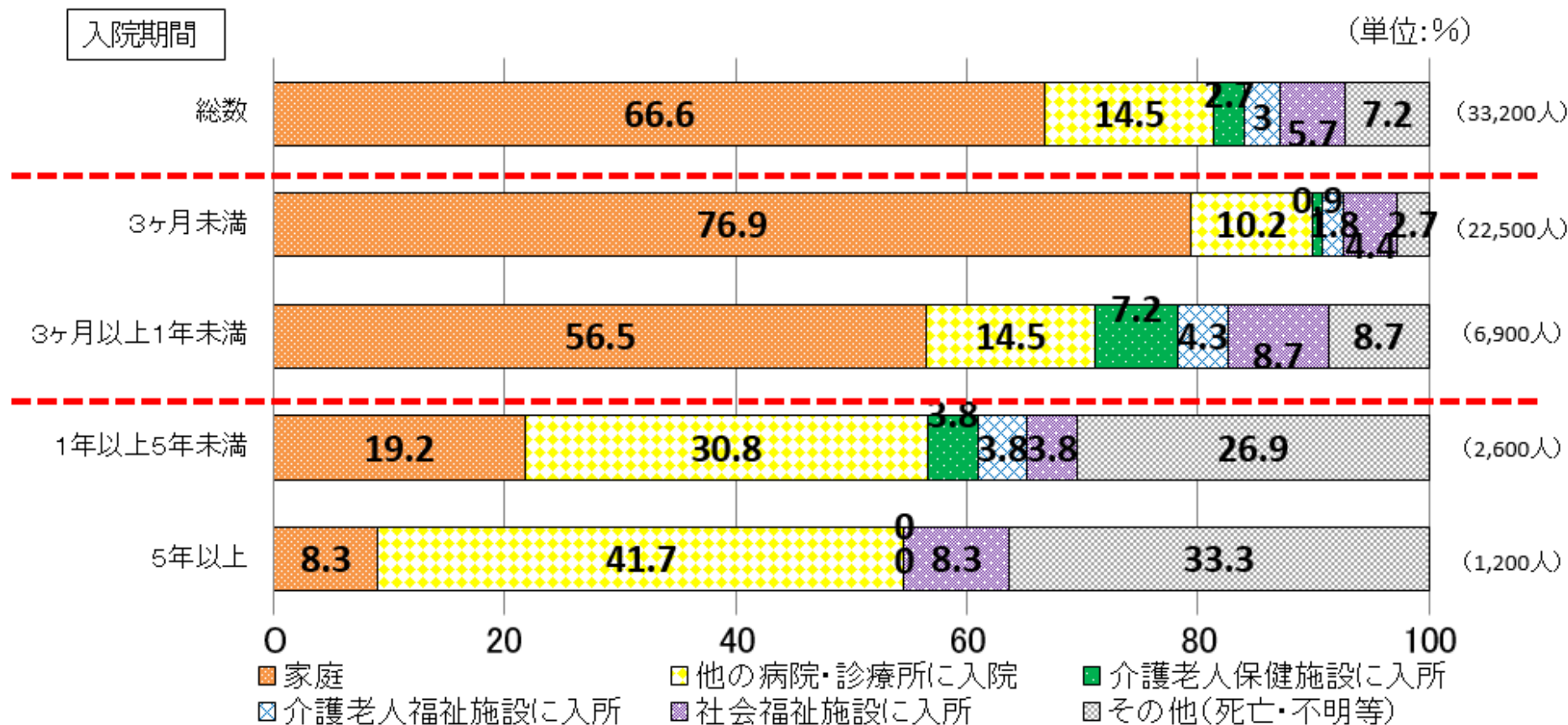
○ 精神疾患を有する入院患者数は、年齢階級別では、65歳未満の入院患者数は減少傾向であるが、65歳以上は増加しており、特に後期高齢者（75歳以上）の入院患者数は15年前と比べ約1.4倍と顕著である。

(単位:万人)



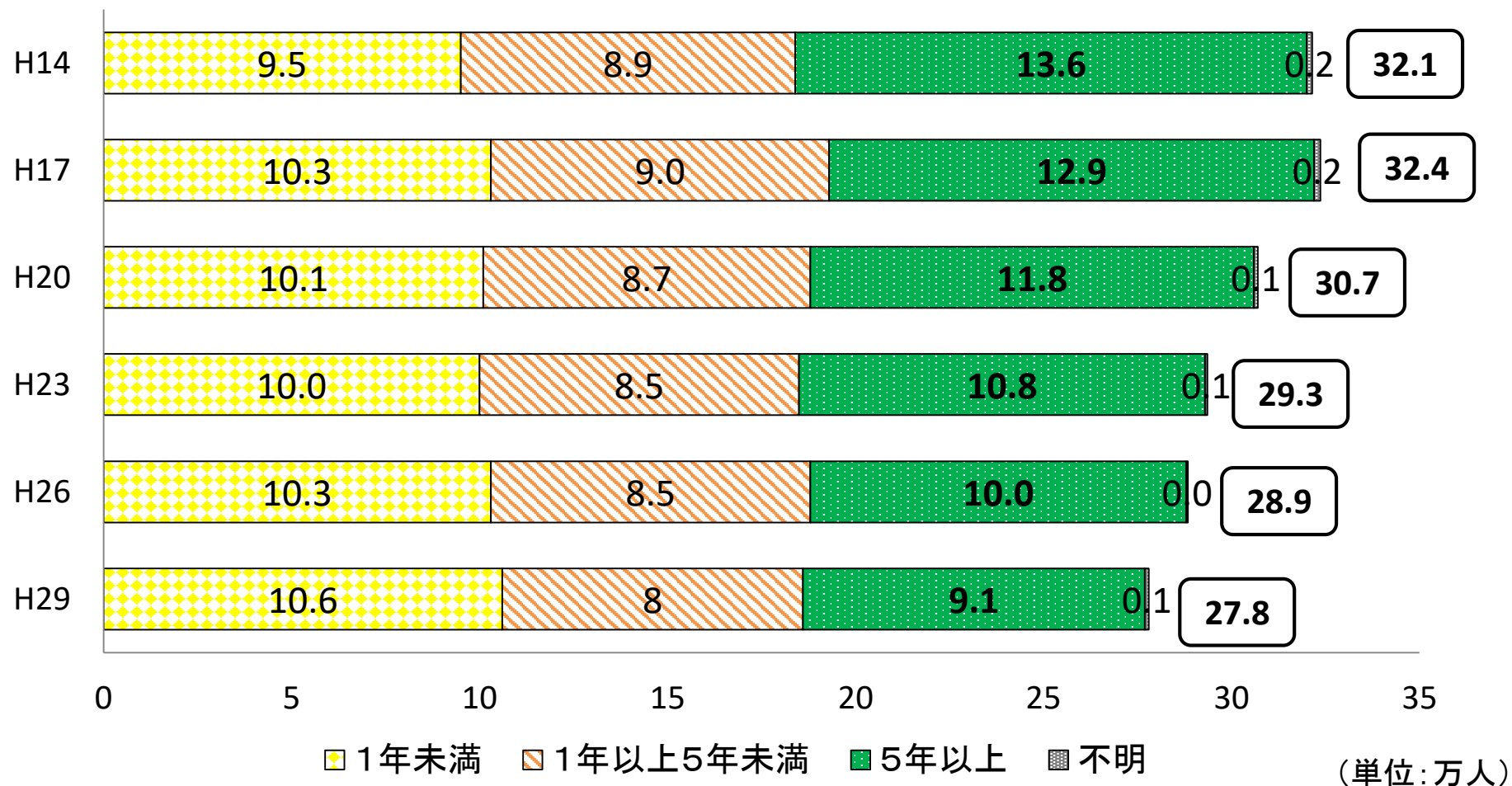
平成29年 精神病床退院患者の退院後の行き先

- 精神病床からの退院患者の退院後行き先としては、総数としては「家庭」が最も多く、次いで「他の病院・診療所に入院」となっている。
- しかしながら、入院期間別にみると、「3ヶ月未満」及び「3ヶ月以上1年未満」入院していた方は退院先として「家庭」が半数以上を占める一方、「1年以上5年未満」及び「5年以上」入院していた方は退院先として「他の病院・診療所に入院」が最も高い割合を占めている。



精神病床における入院患者数の推移(在院期間別内訳)

○ 精神病床でみると、約27万8千人が入院している。徐々に減少傾向ではあるが、1年以上入院患者が約17万1千人(全入院患者の6割強)、5年以上入院患者が約9万1千人(全入院患者の3割強)であり、1年以上長期入院患者が全体の半数以上を占めている。



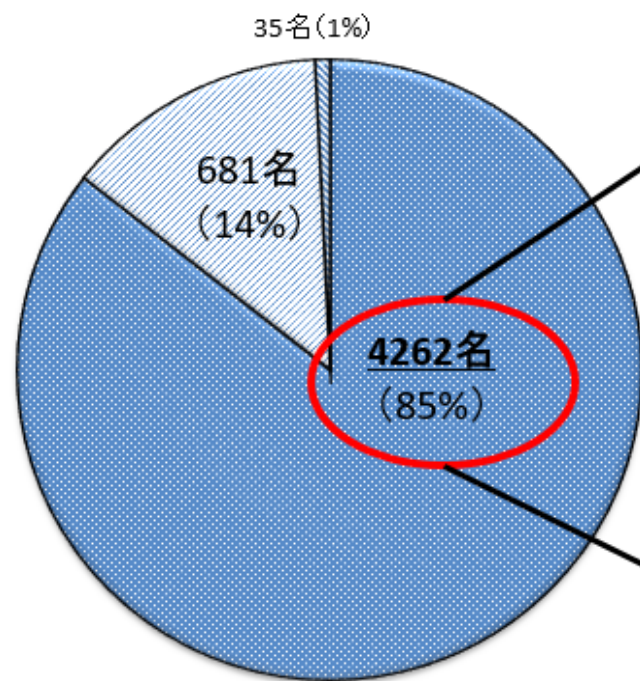
※H23年の調査では宮城県の一部と福島県を除いている

資料：厚生労働省「患者調査」より作成

精神科病院における1年半以上の長期入院患者（認知症を除く）の退院可能性、退院困難理由

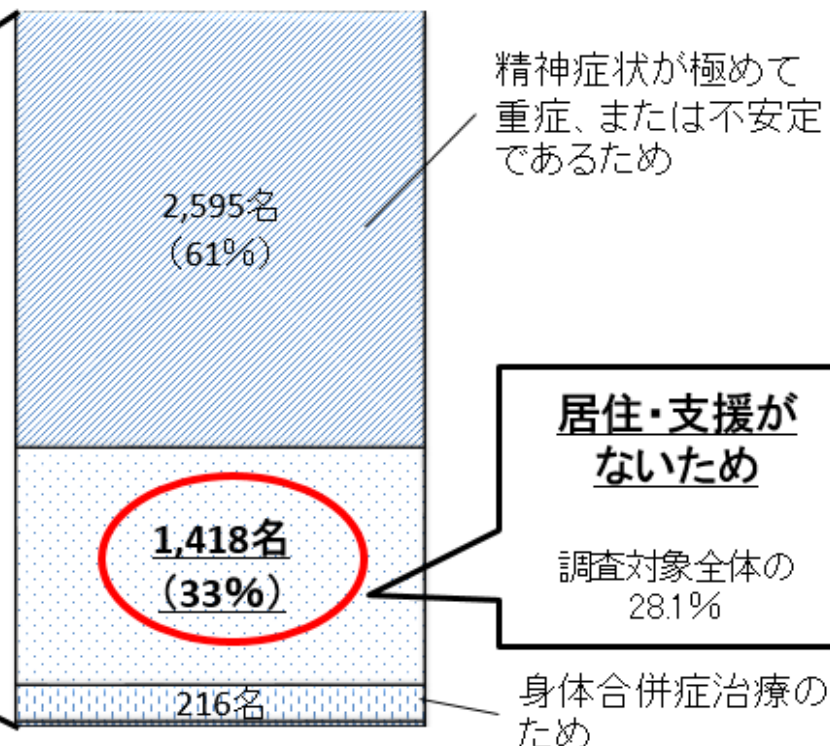
- 1年半以上の長期入院者のうち、14%は「退院可能」とされている。
- 退院困難とされた者のうち、3分の1は、居住・支援がないため退院が困難とされている。

調査日時点の退院可能性



■ 困難 ■ 可能 ■ 無回答

退院困難理由



精神症状が極めて重症、または不安定であるため

居住・支援がないため

調査対象全体の28.1%

身体合併症治療のため

出典：平成24年度厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業
 「新しい精神科地域医療体制とその評価のあり方に関する研究」